

～「(仮)みんなのひろば」検討ワークショップ第5回を開催しました～

現在大槌町では、検討が進められている広場「(仮)みんなのひろば」について、整備イメージを考えるワークショップを行っています。

今回はワークショップ第6回（最終回）を開催いたしましたのでお知らせします。

第6回ワークショップ結果概要

第6回ワークショップの内容

◎開催日時：令和6年3月26日（火） 18：00～20：00

◎会場：大槌町役場3階大会議室

◎テーマ：～ヒトゴトからジブンゴトへ～

広場と向き合いこれからを考えよう！

8名の方にご参加いただきました。

①前回のワークショップで出た意見を反映させた計画案の整備内容、施設配置等について確認しました。

②今後の広場との「関わり方」「育て方」、管理運営などについて考えました。



ワークショップの様子

ワークショップの結果 ※意見の抜粋

どんな広場にしていきたいか	年齢・居住地問わず交流できる場、可能な限り自由に遊べる場など
どんなことがしたいか	木工遊び・遊び道具づくり、自然エネルギーの遊具遊び、鬼ごっこ大会、ピクニック、散歩など
イベントなど	防災イベント、遊び場プロジェクトのイベント、キャンプ体験（焼き芋、たき火など）、植樹・芝はりなど
ルール・マナー	ルールは設けず、広場のあり方やコンセプトを周知し、理解してもらうことで自由度を上げるなど
ハード整備について	シカ被害を考慮して芝を人工芝にする・シカが食べない植物をあえて植えてみるなど、被害をおさえながら身近な野生動物について学べる植栽。再生可能エネルギーを使った施設・遊具、ジョギングコースやkm表示・サインなど
維持管理面について	基本的な管理はボランティアに依頼する、子どもたちが交代で掃除するなど

まとめ

これまでの意見が反映された計画案が形になってきたことで改めて、**自由な広場・多世代が交流する場**にしたいという意見が多くありました。

イベントについては、**防災イベント・キャンプ体験できるイベント・植樹や芝はりをみんなで一緒に行うイベント**を開催したいなどの意見、ルールについては、**ルールや施設内の注意書きは設けず、「ひろば」のあり方やコンセプトを周知することで自由な広場にしていきたい**、という意見がありました。

また、シカへの対応についての意見が多くあり、**食害や衛生面を考え人工芝にする・シカが食べない植栽にしてシカの食べるもの・食べないものを学ぶきっかけを作る**、などが挙げられました。

管理面では、**定期的に掃除をしてくれる人がいると保護者も安心できる、子どもたちが交代で掃除をする**、などが挙げられ、ひろばを維持していく上でどのような取り組みが必要かについても、現実的で有力な意見が出されました。